

# 自立へ……ありがとう

中越地震被災者と支援者が式典



自立式に参加した池谷集落の住民ら（26日、渋谷区で）

2004年10月の新潟県

中越地震で大きな被害を受けた同県十日町市の池谷・入山集落の住民らが参加し、集落の「自立式」が26日、渋谷区西原のJICA東京講堂で開かれた。

国際協力活動を行うNPO法人「JEN」（新宿区）が開いた。池谷・入山集落は、地震で田畑が崩れるなどの被害を受け、地震前に6世帯13人だった高齢化集落の存続が危ぶまれたが、JENが被災直後からボランティアを派遣するなどの

支援を続けてきた。

住民は、農作業や冬場の雪下ろしなどを手伝うために訪れた若者らとの交流を通じ、徐々に元気を回復。村おこしのイベントを企画するなど、住民らが中心となって活動できるようになったため、支援を終えることになった。

この日の自立式には、集落の住民9人や十日町市の関口芳史市長らが出席。これに先立つ記者会見で住民の農業曾根武さん（74）は「『地震が10年前に来てく

れていれば』という冗談ができるほど、若者たちのおかげで集落の雰囲気が一変した。力がみなぎっている」と感謝した。

今年2月、ボランティアに参加した経験のある男性が妻子を伴って集落に

移住。同様に来年移住するという立教大4年の坂下可奈子さん（23）は、「集落の人たちのまっすぐな生き方に衝撃を受けた。ゆくゆくは（移り住む人を）歓迎する側になれば」と話した。